

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292700190		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート我孫子北(2階)		
所在地	千葉県我孫子市久寺家307-1		
自己評価作成日	平成28年3月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	平成28年3月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

お客様が笑顔で安心して暮らせるように、また、ご家族との交流も笑顔で誠意ある対応を心がけています。
また、社是、経営理念、心得を全職員が念頭に置き、お客様の役割を見つけ、生きがいにつながるように支援し、身体拘束、虐待のないお客様の尊厳を尊重した地域に根ざしたケアを心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設後1年が経過し、利用者もホームの生活に慣れ、職員とも馴染みの関係を構築しながら、一人ひとりのペースを尊重した支援を提供している。ホーム敷地内の畑スペースを活用して野菜や果物を栽培し、収穫を楽しんだり、ホーム周辺の散歩を通じて近隣住民の方とも顔なじみの関係になる等、ホームでの楽しみ、地域との関わりも充実してきている。今後に向けては、職員の知識や技術の向上を高めていくために、職員の育成に力を入れていく事を予定している。現状、職員の定着率も高く、チームワークも良好であり、ホーム全体が明るい雰囲気である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「社是、経営理念、心得」を職員共通で考え、地域に密着した事業所を目指しています。	「お客様・ご家族・地域の健やかな暮らしに貢献する」という法人社是のほか、経営理念、心得を事務所に掲示し、かつ全職員にコピーして配付している。これらは拠点会議において唱和し、その理念の共有を目指している。	今後に向けても、社是、経営理念、心得の周知に努め、職員の理解がより向上していく事に期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議を定期的開催し、各方面の方々に参加して頂き、また、近隣センターの倶楽部へ参加したり、道路の清掃活動を通じて交流しております。	地域とのつきあいでは、近隣センターでの催し物の参加や地域のごみゼロ運動や防犯パトロールへの参加を通じて交流を深めている。また、周辺の散歩に出かけた際には近隣の方とあいさつを交わす等、顔馴染みの関係が構築できている。	地域住民との関係性については、日頃の関わりから徐々に構築されてきているが、今後は、ボランティア等の導入も図りより多くの方々との交流に期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	あまり出来ているとは言えませんが、小学校へ出向き「認知症の知識」について講義を行いました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議内でご利用者様の総合的な現状の報告や個々の様子を報告し出席者のご意見をお伺いし、地域の情報交換を行っています。	会議には、市の担当課職員、地域包括支援センター、民生委員、オーナー、利用者家族代表の参加を受け2ヶ月に一度定期的実施している。会議では、事業所の現状報告のほか参加者との意見交換を通じて、サービス向上につなげていけるように努めている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市、地域包括センターへ定期的に訪問し報告、相談等積極的に行っております。	市との連携に関しては、担当課職員が運営推進会議に参加されており、定期的に事業所の活動状況等を報告することができている。また、運営上疑問が生じた際には、相談する等、協力関係を築きながら運営を進めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は基本的に行なってはいけない行為だという事を、職員全体に会議、研修等で啓蒙しております。目の前の道路が抜け道になっており交通量も多い為、ご利用者様の安全確保のため玄関の施錠を行っております。	拠点会議の中で「身体拘束と虐待について」の内部研修を実施し、職員の意識を高めている。現状ホーム内では身体拘束につながる事例は発生していない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の防止(又は身体拘束)について、管理職が身体拘束、虐待の研修へ参加し、スタッフへ会議や研修を通じ啓蒙しております。		

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者様の生きていく上での当然の権利主張を円滑に行うため、管理者、介護支援専門員は管理者研修を受講し職員へ指導している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・重要事項説明は必ず管理者、介護支援専門員の2名以上で行なっております。内容の詳細にいたるまでご説明し、ご理解、ご納得頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の勤務調整を行い、生活時間帯に必要な職員配置はしております。利用者様、ご家族からの要望による突発的な事項に関しては、職員を含め、管理職を中心に対応を図るようにしております。	家族からの意見については、面会時に直接伺うほか、年に一度会社全体で「顧客満足度調査」を家族向けに実施し、運営に関する意見等を収集している。また介護相談員の方が定期的に訪問し、利用者から直接意見等を確認している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	拠点会議やユニット会議を通し、意見交換の場を設けています。また、おりにふれ、疑問や悩みを解消できる機会を設けております。	職員からの意見や提案を聞く機会として、管理者から日常的に職員に声をかけ確認するほか、「アンケート調査」も取り入れ確認している。また毎月の拠点会議やユニット会議を通じて支援や業務に対しての意見等を収集している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々にあった勤務調整の実施を心掛けています。(体力面、生活環境など考慮して)得意・不得意、個々の把握をおこない「やる気」を持てる業務を中心にシフトしていきます。個人面談も随時行っております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修計画(年間)に基づいた研修ばかりではなく、新規採用者への座学研修、既存スタッフへの座学研修など、その段階に応じた研修を少人数にて行い、認知症介護への理解を深める機会を設けております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型事業所分科会へ参加し、他事業所との連携を取り、情報交換をしている。		

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	出来る限り本人からヒアリングしております。認知症の方ですので、ご家族からのヒアリングも交え心身の状況の把握に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回のお問い合わせの際に、ご家族様の主訴は何かを捕らえ、そこから派生する様々な事案をお聞きするようにし、受け止め反映するように努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	計画作成担当者、介護支援専門員を中心に、担当者会議を行い、利用者様、ご家族が必要なサービスを受けられるベストの選択を掴める様ご案内するようにしております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフとご利用者様(一部)とが一緒に洗濯をしたり、食器洗いをしたりと普通の生活を営んでおります。お互いに感謝の気持ちを持ち続けることのできる関係を築くよう努力しております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的な行事のご参加を依頼し、ご利用者様や、他のご家族との触れ合いの場を設ける事によって、皆で一緒に支えていくという実感を持っていただけるよう努力しております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居後は曜日、常識的な範囲内で時間帯を問わず、家族、友人、知人の訪問を受入れております。	これまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないような支援では、知人や友人の来訪の受け入れや、家族の協力を得て馴染みの場所への外出や外食などを通じて、関係性の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	散歩や外出に皆で出かけたり、レクリエーションをしたりし、個々の利用者様同士にもよりますが、のコミュニケーションを図るようにしております。		

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続的な関わりを必要とすご利用者様やご家族には、介護支援専門員より、定期的に電話にて連絡させて頂き、近況などをお伺いしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人・ご家族の希望、意向を把握し、それを第一にケアプランに反映、作成し、マネジメントしております。	日頃の会話や表情から一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、また家族等の協力を仰ぎその把握に努めている。困難な場合は、家族に相談の上、利用者本位に検討している。	今後に向けてはケアプラン2表のみでなく1表やアセスメントについても定期的に見直しができているか、計画作成担当者を中心に定期的に確認されることが望まれる。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアマネジャーがモニタリングシートを作成し、スタッフに情報提供することで情報共有をしています。また、アセスメントシートなどをスタッフが閲覧しやすい場所に配置し、情報の積極的な収集を促しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送りや、管理者の定期的な現場への訪問で、左記項目の把握をするようにしております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族、ご利用者様、提携医療、介護支援専門員、管理者、スタッフなどの意見を取り入れ、介護計画に反映して実際のケア展開を行っております。	アセスメントにおいて利用者の現状及び課題を抽出し、アセスメントで得た情報を基に担当者会議において利用者、職員から意見を収集し、総合的な意見を踏まえてケアプランを立案している。ケアプランの状況は毎月モニタリングを行い、目標の達成度を確認している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々、個人日誌、業務日誌の記録をし、内容を管理者、介護支援専門員がチェックしております。スタッフが共有すべき事柄は申し送りノートに記録し、情報の共有に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日頃からお要望を連絡していただけるようお願いしており、出来る限りの要望に対応するようしておりますが出来る事、出来ない事を明確にしサービスの向上に努めております。		

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現状は地域資源の活用といったことが出来ていません。(近隣センターとの交流はあります)		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者様の内で認知症の専門医の診療が必要な方、ご家族がご要望された方に関しては、介護支援専門員より医療機関に連絡をすることによって、適切な支援を行なっています。	提携先の医療機関による往診が月に2回あり、定期的に主治医の診断を受ける事ができている。担当医とは24時間連絡が取れる体制であり、緊急時にも迅速に対応が図れている。また希望する方はこれまでのかかりつけ医を継続する事も可能である。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師は配置しておりません。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様の主治医、各病院のソーシャルワーカー(市内及び近隣の病院)との関係を密接にとっています。ご利用者様が入院の際には、入院先の医師・病棟看護師に直接情報提供や情報共有を行い、安心して過ごせるような支援を行なっております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族、提携医療、と連絡を取り合いながら話し合いの場を作り説明している。	重度化や終末期の方針に関しては、契約時において方針を説明し、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有している。重度化が見られる場合は、家族や主治医と再度話し合いを行い、今後の方針を検討していくこととしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフ会議などで情報の共有を図り、マニュアルを作成し、ファイリングして事務所内に保管し閲覧できるようにしてあります。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間避難訓練、消防訓練は年度研修計画にて実施しております。地域住民の方々への働きかけは今後も課題とさせていただきます。	昼間、夜間を想定した避難訓練を消防署立会いの下計画的に実施している。また全職員が安全に避難できる方法を身につけられる様に、全職員に「緊急事態初動手順書」を配付している。	今後に向けては、非常用水の確保のほか、災害後に家族に対してどのように安否を報告していくのかについてより明確になると良いであろう。

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員が取り組み実施しています。	拠点会議の中で「認知症の対応方法」について研修を行い、職員全員が利用者に対して適切な対応が図れるように取り組んでいる。居室への入室についても、ノックをする事や一声かける事を基本とし、プライバシーに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者との信頼関係作り等、思いを伝えられる環境を作り、自己決定の機会を設けることのできる支援を行なっています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様が入所される前に暮らしていた普通の暮らしを施設内でも実現できるよう、「見守り」を重視し、本人の希望に添うように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容を定期的に予約し、ご利用頂いております。また、ご利用者と共に買い物に出かけたりして衣類を選んでいただいております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様と同じ昼食をスタッフも共に摂り、楽しい食事時間となっております。また、ガーデニングで植えた野菜を収穫し、食事に盛り込んだり、スタッフとご利用者様一緒に調理や食器洗いを行なったりしています。	食事の準備では、利用者にも声をかけ、出来る範囲で、テーブル拭きや、後片付け等に参加して頂いている。食事を楽しむ工夫では、ホーム敷地内の畑で野菜の栽培や収穫、ファミリーレストランへの外食を通じて楽しみにつなげている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量はその都度チェックし、記録に残しチェックをするようにしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	お客様全員にハブラシを持参してもらい、拒否される方もおりますが、食後は必ず声掛けをして、口腔ケアを行なって頂いております。また訪問歯科と連携し口腔ケアも実施しております。		

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	便意の意思表示ができる方に関しては、意思表示を必ずしていただくき、できない方に関しては、排泄間隔を把握し定期的な誘導を行なうことによって支援を行なっています。	個人日誌に水分摂取量や排泄に関する記録を残し、利用者一人ひとりの排泄パターンを共有している。排泄の支援では、定時の声かけや誘導により、トイレで排泄できるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給(1日に800~1200cc摂取)の目安に実施しております。積極的に散歩への参加を促しております。メニュー作成時に考慮して食物繊維の積極的な摂取(野菜、果物、海藻等)ヨーグルトの定期的な提供をしております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴のチェックシートに実施結果を記入し、入浴予定者をスタッフで考えるようにしております。しかし、ご本人様の意思にそぐわない、体調が悪いなどの理由がある場合はそれに沿ったケアを行なうようにしております。	入浴は、利用者一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回入浴できるように支援している。入浴時に職員との会話などが楽しめるように支援しながら楽しみにつなげている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転にならぬように、個々の休息や入眠パターンを把握し、快適な休息、睡眠をとっていただけるよう努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬管理については管理者、介護支援専門員が施錠管理を行なっております。各ご利用者様の処方薬につきましては薬局からの説明書面を事務所内にファイリングをして閲覧できる場所に配置しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	こちらから集団レクリエーションのお誘いをしたりし、ご利用者様の持てる能力を生かすことのできる環境を提供することもしております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日散歩へのご参加の声がけをし、お客様のご要望を聞き、外出、外食する機会を増やしております。	利用者が戸外に出かけられるような支援については、天候や気候の良い日にホーム周辺の散歩にお連れしたり、嗜好品の買い物や道の駅まで外食に出かける等、戸外に出かけられる機会を提供している。	今後に向けては、外出計画を立案する等、定期的に外出できる機会に努め、戸外活動のより充実に向けた取り組みに期待したい。

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族から、お小遣いとして当施設にてお預かりをし出納帳で管理している。ご本人様が使いたいときには自由に使っていただけるケアを行なっています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人のご希望通りに、施設内電話をご使用いただけます。手紙もご要望があればお出しいただけます。選挙にも付き添い対応出来ます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアにその季節に沿った飾り付けをしたり、ご利用者様の書いた習字を掲示したり、居心地の良い空間演出をしております。	共用の空間は、ご利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを少し離し、自由にご利用いただけるようにしております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族の協力をいただきながら、実施しております。	居室は、ご利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのもをの持ち込みを可能とし、ご利用者が居心地よく過ごせるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内には手すりを設置しており、バリアフリーになっております。ご利用者様の安全を確保しながら、残存機能を有効利用し、自立した生活が送れるようになっております。		